



「第4章 緑地の保全及び緑化推進のための施策」に示した基本施策を効果的に実施していくためには、市民・事業者・行政が共通の目標を持って、協働して緑地の保全、公園の整備と管理、緑化の推進に取り組んでいくことが重要です。

そのためには、「緑地や緑化に対する市民意向調査」（平成 26 年度）等を踏まえた、緑や公園に対する総合的な施策の評価や、市民、事業者の積極的な参加によって、施策の実効性を高める必要があります。

本計画では、富士山を取り巻く緑豊かな環境の創出、満足度の高い公園への改善、緑地に関する情報の共有による総合的なスパイラルアップの3つをテーマとし、基本方針に基づく基本施策に横断的に取り組む「リーディングプロジェクト」を設定しました。

リーディングプロジェクトの実施を通じて、富士市の魅力を向上させる質の高い緑を市民、事業者と共有していくとともに、市民、事業者が身近な緑の保全と創出に関わっていくことで緑や公園への愛着を深め、さらなる参加と協働の促進につなげていきます。

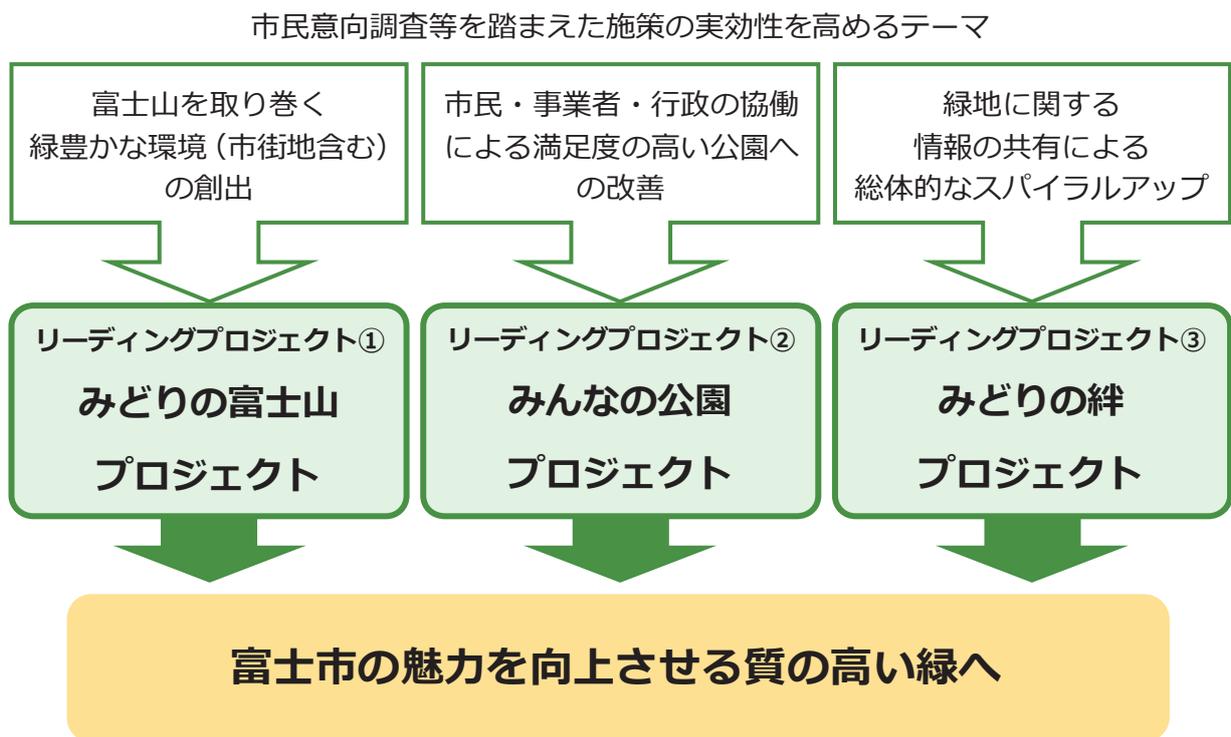


図 5.1 リーディングプロジェクトの構成

リーディングプロジェクト① みどりの富士山プロジェクト

「みどりの富士山プロジェクト」は、富士山を取り巻く緑豊かな環境の創出によって、富士山がみどりに見えることを目指すものであり、本市が取り組む様々な施策の効果を、富士山に向き合ったときにどれくらい緑が視界に入るかによって確認するものです。

このプロジェクトは、これまで各担当部署が個別に行っていた緑に関する取組を、富士山に対する眺望を用いて1つにまとめあげ、全体としての方向付けをするものです。みどりの富士山プロジェクトによって、様々な取組の成果を総合的に検証することで、実効性の高い施策展開を促します。

取組内容

- まちなかの緑化から富士山のふもとに広がる自然環境、農地、樹林地等の保全まで、市民・事業者と行政が協働して、多種多様な緑を保全・創出します。
- 振動・騒音の少ない快適な生活環境の創出、気候の安定による暮らしやすさの向上と災害発生リスクの低下、地球温暖化の要因の一つである二酸化炭素（CO₂）の吸収、緑豊かなまち並みによるストレスの少ない社会の実現など、多くの効能を有する緑と水のネットワーク形成を促進します。
- 本市の風土に適した植物の育成を進めます。植物が元気で手がかからなくなることにより、緑化をさらに進めることができます。
- 長期的には、富士山がみどりに見える環境を目指します。
- 当面は、富士山を望んで視界に入る周辺の緑視率の向上を図ることで、本市からの富士山の印象を良くします。

具体的には

- ・ 富士市役所屋上からの、富士山を中心とした市街地景観
- ・ 「都市計画マスタープラン」で定めた富士山眺望軸の2つの視点から「みどりの富士山」を目指します。

主に関連する基本施策

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1-（1）豊かな自然環境を保全する | 3-（1）花と緑にあふれるまちをつくる |
| 1-（2）災害に強いまちをつくる | 3-（2）公共空間のみどりを育てる |
| 1-（3）緑と水のネットワークをつくる | 4-（2）市民・事業者・行政の協働による活動を広げる |

期待される効果等

- ◆ 施策の効果を客観的に測定することによる市民理解の向上
- ◆ 富士山と調和した景観の増加による富士山愛の向上

取組のイメージ



富士山を望み、視界に入る市街地などにどれぐらいの割合で緑が入るのかを計測することで、様々な施策の成果を一元的に評価



【参考】緑視率とは？

従来、緑の量は敷地を上から見て樹木や芝生、草などの緑で被われた部分を表す「緑被率」で把握されてきました。しかし、緑被率は必ずしも目に見える緑の量とは一致しません。

そのため近年では、視界に入る緑の量の割合を表す「緑視率」を指標として、緑豊かなまちをつくる動きが各地で始まっています。

国土交通省が実施した社会実験（平成 17 年）では、緑視率が 25%を超えると緑が多いと感じられるという結果が出ています。



緑視率は、写真から、樹木（幹、枝等も含む）、草花、壁面緑化、芝生の部分を「緑」として抽出し、画面全体に占める割合を算出する

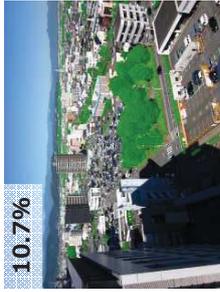
【市役所屋上から撮影した富士山と本市のまち並み】

北側



点線の枠内の
緑視率

10.7%



12.3%



10.3%



7.7%



南側

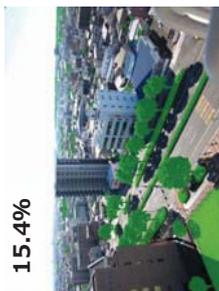


点線の枠内
の緑視率

17.7%



15.4%



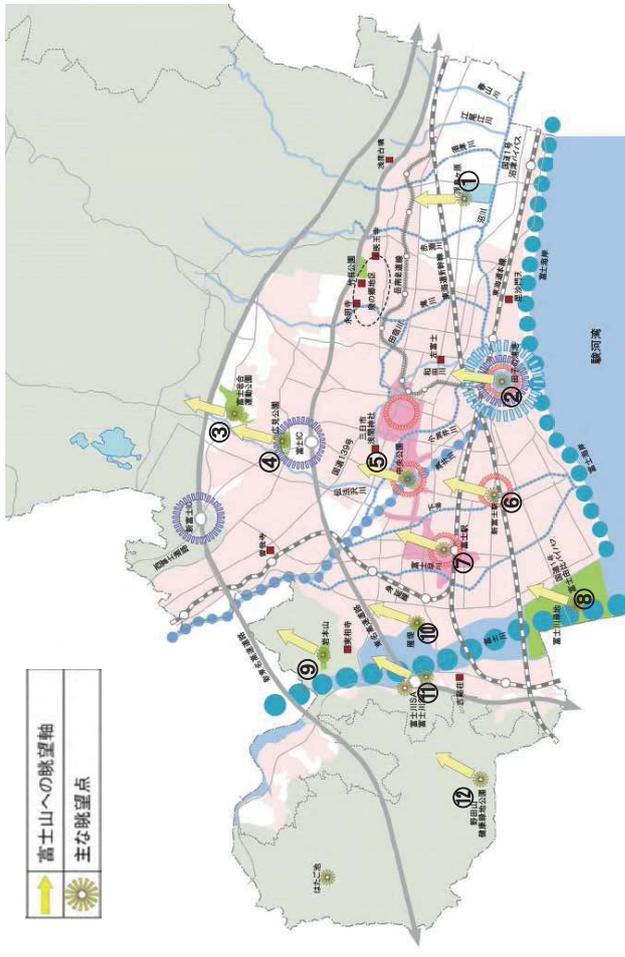
14.6%



26.0%



【「都市計画マスタープラン」の「都市景観の基本方針図」に示された眺望地点の現状】



- 【眺望地点】
- | | | |
|-------|--------|------------|
| ①浮島ヶ原 | ②田子の浦港 | ③富士総合運動公園 |
| ④広見公園 | ⑤中央公園 | ⑥新富士駅 |
| ⑦富士駅 | ⑧富士川緑地 | ⑨岩本山 |
| ⑩雁堤 | ⑪富士川楽座 | ⑫野田山健康緑地公園 |

図 5.2 富士市都市計画マスタープラン 都市景観の基本方針図

リーディングプロジェクト② みんなの公園プロジェクト

花と緑と水がおりなす憩いのまちを実現するためには、地域のみなさんが行ってみたい、楽しいと思える公園を増やしていくことが必要です。市民や事業者からの提案により、市民・事業者・行政が協力して取り組む仕組みをつくります。

取組内容

- 公園愛護会を中心とした地域住民主体の公園管理を進めます。また、公園の特色づくりや改善を公園愛護会をはじめとした地域住民が提案できるようにし、地域住民と行政の協働により身近な公園の魅力向上を図ります。
- 民間事業者との連携により、公園利用者の利便性向上を図ります。
- 都市計画公園の整備のあり方を検討していきます。都市公園の整備については、適正な配置や整備内容を検討していきます。



主に関連する基本施策

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| 2 - (1) 身近な公園を充実する | 2 - (3) 公園の適正配置を進める |
| 2 - (2) 公園の使いやすさを高める | 4 - (2) 市民・事業者・行政の協働による活動を広げる |

期待される効果等

- ◆ 公園の再整備に協働で取り組んだことによる市民意識の向上
- ◆ 遊びや休息の場となる身近な公園の量と質に関する市民満足度の向上

公園の改善提案制度（仮称）のイメージ

改善する公園の募集と提案

地域の組織

- ・公園愛護会
- ・町内会
- ・みどりいっぱい
富士市民の会
- ・ボランティア団体
- ・事業者 など



行政

計画づくりと 協働作業内容の検討



改修、改善イベント等
の実施



みんなに親しまれる公園へ

愛護会活動の促進、地域イベント等に使用

～ 市民・事業者の提案を活かした公園の一例 ～

新通町公園



公園内に新幹線が置かれている。鉄道愛好会の協力でミニSLが月1回運行する。

今宮ふれあい公園



ワークショップで住民の意見を取り入れてつくられた。地元の火祭りでにぎわう。

米の宮公園



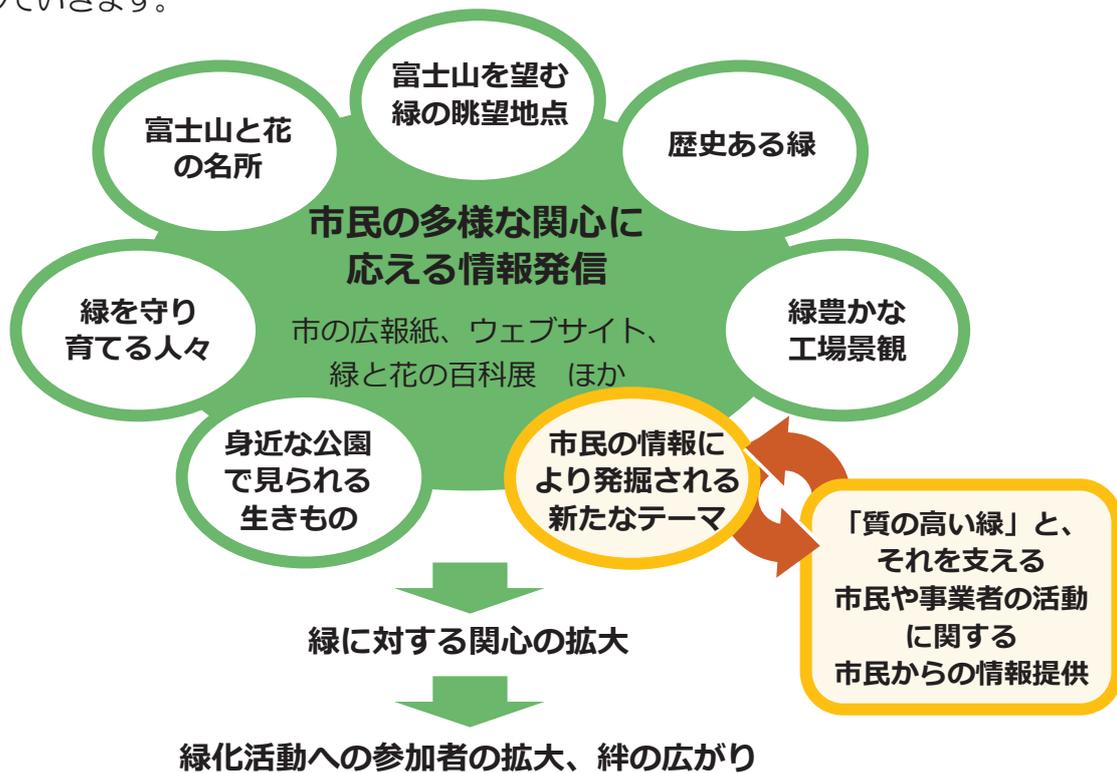
事業者からの提案（寄付）で遊具が設置された。

リーディングプロジェクト③ みどりの絆プロジェクト

緑の保全・創出に向けて市民、事業者の参加を促進する第一歩として、質の高い緑の存在を市民に知ってもらい、緑への関心を高めていきます。

取組内容

- 「富士山を望む緑の眺望点」「歴史ある緑」「緑を守り育てる人々」「身近な公園で見られる生きもの」「緑豊かな工場景観」等、市民の多様な関心に応えるテーマを設けて、市の広報紙やウェブサイト、緑と花の百科展等の場や機会を通じて市民に向けて発信することで、花と緑への親しみを増し、緑化活動に参加する市民の輪を広げていきます。
- 花と緑に彩られた富士山の眺め、豊かな自然、歴史を感じられる緑の景観、楽しく遊べる公園などの「質の高い緑」とそれを支える市民や事業者の活動について、市民からの情報提供を積極的に受け入れます。
- 市民から提供された情報を再発信することにより波及に努め、さらに質の高い緑を生み出していきます。



主に関連する基本施策

- 4-（1）花や緑の魅力を伝える
- 4-（2）市民・事業者・行政の協働による活動を広げる

期待される効果等

- ◆ 富士市らしい質の高い緑の発掘と共有による緑への関心向上
- ◆ 市民・事業者と協力して行っている緑化活動の認知度向上

